

他人事ではない！

# 知ってほしいSTI（性感染症）・HIV

■問い合わせ：保健センター母子保健グループ ☎ 64-1039



STI（性感染症）は、不妊の原因になったり、妊娠中に感染していると早産や胎児に影響を及ぼすことがあります。検査を行い、早期発見・早期治療を行いましょう！

**Q** STI（性感染症）はどんな病気で、どんな症状があるんですか？

**A** STI・HIVは、セックス、オーラルセックス、アナルセックスなどで感染します。一度治っても再び感染することがあるので、パートナーと一緒に検査・治療しましょう。代表的な病気を紹介します。

## STI（性感染症）の代表的な病気

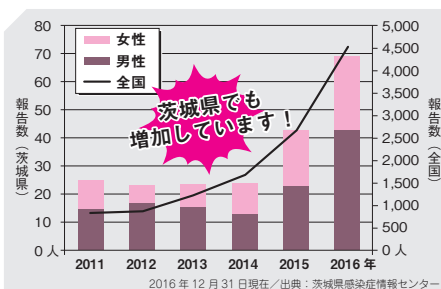
〔厚生労働省・茨城県ホームページより〕

### 梅毒

痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹が起こり、数年～数十年後には血管や神経の障害など全身に多様な症状をきたすことがあります。

妊婦の感染は、早産や死産・胎児の重篤な異常につながる可能性があります。

梅毒が全国で増加中!!



### 淋菌感染症・性器クラミジア感染症

男性では排尿痛・尿道不快感・尿道からの分泌物、女性ではおりものの変化や下腹部の痛みといった症状をきたすことができますが、感染しても無症状な場合も多いです。男性・女性の双方で不妊の原因になることがあります。淋菌と性器クラミジアは同時に感染していることが多いです。

### ヒトパピローマウイルス感染症

性経験のある女性の半数以上が一度は感染するとされています。症状はほとんどありません。

さまざまなタイプがあり、一部のウイルスは性器にいぼができる「尖圭コンジローマ」の原因となったり、子宮頸がんや膣がんなどの原因になったりします。

### 性器ヘルペスウイルス

男性器・女性器に痛みを伴う水泡ができ、潰瘍になるものもあります。一度かかると治療しても繰り返し再発することがあります。

女性の場合、妊娠・出産時の感染が胎児に重篤な合併症を引き起こすことがあります。

### HIV・エイズ（後天性免疫不全症候群）

HIVに感染すると、初期症状に風邪のような症状がみられることがあります。その後、自覚症状がないまま徐々に免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることができる病気（日和見感染症）などを発症します。

早期に治療を開始し適切な治療を続ければ、感染前とほとんど同じ生活を送ることが可能です。HIV感染は検査でしか分かりません。

**Q** 予防方法はありますか？

**A** コンドームの適切な使用により、感染のリスクを減らすことができます。

**Q** 検査はどこでできますか？

**A** 保健所や医療機関などで検査を受けることができます。

検査・相談できる機関を

検索

#### HIV 検査相談マップ

全国 HIV / エイズ・性感染症検査・相談窓口情報サイト

☎ <http://www.hivkensa.com/>



茨城県竜ヶ崎保健所でも

「HIV・クラミジア・梅毒」の検査を実施しています！

無料・匿名で受けられます。検査は完全予約制です。詳しくは竜ヶ崎保健所までお問い合わせください。

▶ 問・予約先：茨城県竜ヶ崎保健所保健指導課 ☎ 62-2367